

ラリーノ *Larino* (F_1 hybrid)



特性

- ハウス半促成での栽培では側枝がほとんど出ない、主枝型の品種です。
- 主枝成り品種ですので、ひもを使う「吊り下げ栽培」でも作れます。
- ネット栽培では、主枝を摘心せずに伸ばし、ネットから垂らす方法もあります。
- 完全節成～房成り性が強いので、灌水と追肥を怠らないよう気をつけて下さい。
- 側枝が出にくいので、ベランダでの栽培にも適します。大型の野菜用プランターの中央に1株を定植し、太陽光線が葉に充分当たるように管理します。
- 高温期の露地栽培など、栽培環境により、側枝が出る場合があります。

ラリーノホワイト *Larino White* (F_1 hybrid)



特性

- 果皮が薄白緑色の可愛いミニキュウリ。サイズはラリーノと同じです。
- ラリーノと一緒に透明の袋や箱に入れるとコントラストが鮮やか。
- ラリーノと同時に定植すると、初期の生育はやや遅れますが、中盤から雌花が旺盛に着生～着果し、ラリーノと同じかそれ以上収穫できます。ラリーノとの同時収穫を狙うなら7～10日程度早く定植の方がよいでしょう。
- ラリーノと同等のうどんこ病抵抗性を持つ、非常に作りやすいミニキュウリです。
- 果肉はラリーノよりややソフトですが、食味や日持ち性は同等です。栽培環境により、果皮色がやや濃くなることがありますが、食味に影響はありません。
- ラリーノと一緒に栽培～出荷すると、見栄えが良く、ミニキュウリの品揃えが増え、売上アップにつながります。